

地域包括支援センター名：南湖地区地域包括支援センターれんげ

1. 今年度の重点的な取組方針					
評価基準	自己評価	自己評価の根拠	基幹型評価	評価するにあたって判断したことがら	市評価
1－1. 市の方針に即している	4	市の方針に即し事業展開を行ってきた。地域ケア会議を継続して開催し地域課題の把握に努めた。チーム力向上を意識し面談等実施した。地域住民の身近な相談窓口として周知されるよう積極的に地域の活動に参加し関係作りを行った。	4	市の方針に即して作成された事業計画に基づき、事業を実施している。	4
1－2. 長期的な視点を踏まえた上で今年度の取組を明確にしている	3	職員が定着し、地域の関係機関や地域住民との関係作りを継続することにより信頼関係の構築、互いの理解が生まれることなどを意識した。地域に根差したセンターとして機能できるよう、災害時等の対応、地域との連携について検討した。	4	長期的な視点を持ち、包括内で検討の上、事業を実施している。地域とも検討の場を設け、取り組むべき方向性を共有するなど、具体的な成果も見られる。	4
2. 組織の運営体制の具体的方針					
評価基準	自己評価	自己評価の根拠	基幹型評価	評価するにあたって判断したことがら	市評価
2－1. 組織体制並びに管理責任者及びトレーナーの役割が明確である。	4	人材育成研修への参加から管理責任者、トレーナーの役割、立場が明確化され、意識が向上した。互いに連絡、相談できる体制となっているため業務の遂行に支障を来すことなく行えている。	4	組織体制やトレーナーの役割が明確であり、人材育成を意識して面談等を行っている。また、情報共有が滞りなく行われており、現場と管理責任者の連携体制がある。	4
2－2. 切れ目なく三職種を配置し、業務を継続する体制がある	3	今年度は、職員の交代がなく業務遂行できた。三職種については継続的な雇用体制を基本としているため、個々の資質の向上やモチベーションの維持のために意見交換し、意見聴取を行っている。	4	円滑な引き継ぎができるよう、業務のマニュアル化に取り組んでいる。28年度の離職者はいないが、新たな入職者の可能性を想定し、職員のフォロー体制を整えている。	4
2－3. 適正な職員配置の方針があり、業務量に応じた人員数が確保されている。	3	職員の適正、能力、意向等を十分に理解するため面談等を行い合意の上での配置となっている。業務量が適切か、無理がないか等、確認する機会を設けている。業務量に応じて人員増や業務分担の分析など検討できる体制となっている。	4	人員増を要望する基準として、一人あたりが担当する介護予防プラン件数の目安を40件としている。法人として業務分析を行うなど、具体的な取り組みが見られる。	4
3. 職員間の連携に関する具体的方針					
評価基準	自己評価	自己評価の根拠	基幹型評価	評価するにあたって判断したことがら	市評価
3－1. 支障なく業務を遂行するための職員間の連携体制がある。	4	朝のミーティングや所内会議を有効活用し職員間で連絡、相談できる体制となっている。日誌、記録(PC)の際のルール作りを行い、職員が迷いなどから連絡対応が遅れることがないように工夫している。	4	必ず包括内で話し合い、検討してから、業務にあたっている。管理者をトレーナーとして位置付け、職員間の意見交換を促している。	4
3－2. 三職種の専門性を活かし、チームで事業を実施している	3	今年度は特にチーム力の向上、チームケア実現を全職員で意識して業務遂行にあたった。各専門職の意見を求め、意見交換し、方針等を見出したりしている。専門性を磨くための研鑽の機会を積極的に持つようにしている。	4	職員の専門性を意識した意見交換を活発に行っており、平成27年度と比較してもその機会は増加している。また、自発的に研修へ参加し、フィードバックも適切に行われている。	4
4. 公正・中立性確保のための具体的方針					
評価基準	自己評価	自己評価の根拠	基幹型評価	評価するにあたって判断したことがら	市評価
4－1. 公正・中立性を確保するための根拠がある	4	適切なアセスメントの実施、アセスメント方向上の機会を持ちながら事業所の提案、案内、紹介を行っている。介護予防サービスや居宅介護事業所へ紹介する際に記録を残す。紹介先のデータ分析を行い偏りがないか等意見交換を行っている。	4	各月の委託率等も問題なく、公的機関であるという認識を強く持っている。データ分析により、数字上の偏りが発生した場合についても把握することができる体制がある。	4
4－2. 職員に対する意識啓発の機会を設けている	3	公益的な機関としての役割、業務運営の必要性を職員間で共有し、公平・中立が求められていることをミーティング等で繰り返し確認している。公平・中立確保のための方針を全職員で検討、意見交換している。	4	地域資源の情報が不足していたことを理解し、情報収集を行い、地域住民に紹介できる資源等の幅を広げている。ミーティングの中で、意識啓発の機会を設けている。	4
5. 緊急時対応の具体的方針(災害時含む)					
評価基準	自己評価	自己評価の根拠	基幹型評価	評価するにあたって判断したことがら	市評価
5－1. 緊急時の体制が整備され、機能している	3	マニュアルの確認、災害等の緊急時の具体的な包括職員としての動きをミーティングで検討し、個々の動きや連絡体制などを確認した。防災マップの見直しをし、緊急時に活用しやすいものにした、更新、管理の仕方も再検討した。	4	地域の動向に目を向け、実際に活用できる防災マップの作成に取り組んでいる。今後配布予定の避難行動要支援者支援名簿も視野に入れ、マニュアル等の整備を行っている。	4
5－2. 災害時の行動基準が明確である	3	茅ヶ崎市の緊急時の行動基準に準じて、委託型の包括支援センターとして行うべきことを確認、明示している。災害の程度や種類によっての行動について想定をしながら意見交換する機会をもつようにしている。	4	災害時の持ち出し情報等の基準は確定されていないが、市の基準に基づき対応できるよう、日頃からミーティングの場で話し合っている。	4
5－3. 防災・減災に向けて日常的に取り組んでいる	3	自治会に加入し、災害時には住民と共に行動ができることを意識している。地域の防災訓練に参加している。緊急時に最低限必要な物品をリュックに収納し、各々は所用携帯と笛を携帯している。自治会長らと防災対策について意見交換している。	4	防災訓練等への参加を通じて防災に取り組んでいるほか、平成27年度に掲げていた、自治会長との防災に関する意見交換を実施しており、地域住民との協力体制がある。	4
6. 個人情報保護に関する具体的方針					
評価基準	自己評価	自己評価の根拠	基幹型評価	評価するにあたって判断したことがら	市評価
6－1. 個人情報の取り扱い方針が規定されている	4	個人情報保護に関しての規定について規定している。個人情報を取り扱う上での社内のルールについて共有し、遵守している。	4	包括として、個人情報の取り扱いに関する規定、方針が明確化されており、職員も把握している。	4
6－2. 職員に対する意識啓発の機会を設けている	4	個人情報の取り扱いについて、所内、個々人での意識の向上のために繰り返し、ミーティング等を活用し啓発を行っている。個人情報の取り扱いに関するヒヤリハット事項があった場合に所内、法人内で共有し振り返りを行っている。	4	問題に発展する前の段階でヒヤリハットとして認識できており、ミーティングを通じて、個人情報の取り扱いについて職員間で意識を高めている。	4
7. 苦情・要望に対する具体的方針					
評価基準	自己評価	自己評価の根拠	基幹型評価	評価するにあたって判断したことがら	市評価
7－1. 苦情・要望の対応のための適切な体制が整備され、機能している	4	苦情につながりそうな出来事、地域住民からの要望などを把握した時点で所内で検討する時間をとっている。ヒヤリハット報告として挙げ、記録に残し、対応対策を検討するようにしている。	4	包括に対する苦情でなくても、適切に記録を残しており、柔軟に対応している。ヒヤリハットの意識も持ち、苦情につながる前の対応を心掛けている。	4
7－2. 苦情・要望の対応のための職員の対応力向上に向けた取り組みがある	4	苦情や要望があった場合に何が不足していたか他に方法はなかったか、また対応し得る要望かなどを意見交換する機会をもっている。所内のみでなく法人内の会議でも報告し意見をもらい対応力向上に役立てている。	4	苦情があった場合には、職員間で意見交換し、対応を検討している。必要に応じて、法人の会議の場を活用するなど、職員の対応力向上の機会を多く設けている。	4
総合評価(平均点)		3.5	4		4

総合評価（自己）	28年度の重点的な取組方針に沿って業務を遂行してきた。地域の活動や行事に積極的に参加することや関係機関との連携を意識的に行うことで、地域との距離が少しずつ縮まり関係性を築くことができたことが成果と捉えている。地域ケア会議については継続的に開催してきた。参加者からの意見聴取や実情の共有等を関係機関と行うことで地域の実情や課題、包括支援センターとして取り組むべき課題が見えてきたと実感している。地域の強みがわかり更に有効に機能するための方向性など次年度に向けての目標設定ができた。包括職員としての資質向上や専門職としての研鑽に重きを置き、研修参加やディスカッション等を行ってきた。地域の身近な相談機関としての機能を果たすべく、個々のスキルアップとチーム力の向上をさらに目指して業務に取り組みたいと考えている。
----------	---

運営協議会の意見	昨年の評価を踏まえ、改善がみられていました。 全体的に、求められる評価基準を満たした上で、事業を円滑に実施しており、成果がみられています。
----------	--

総合評価（市）	積極的に地域の活動に参加することにより地域の実情やニーズの把握に務め、三職種が各々の専門性を活かして緊密に連携しながら長期的な視点を持って地域に根差した取組を進めていることを評価いたします。また、そうした取組を支える運営体制が整備されており、公正・中立性の確保、個人情報保護、苦情・要望への対応につきましても、高い意識を持って業務に取り組んでいることを評価いたします。また、前年度に課題として挙げた緊急（災害）時対応の具体的取組につきましては、地域の方々との協力体制の構築に務める等、課題解決への認識が明確になっております。 今後とも地域包括ケアシステムの推進のため、さらに積極的に取組を進めていただくことを期待しております。
---------	--

運営状況レベルの内容	評価点
求められる評価基準を満たしており、具体的成果が見られる	4
求められる評価基準を満たしている	3
求められる評価基準を満たしていないが、取り組みは行っている	2
求められる評価基準を満たしておらず、取り組みも行っていない	1